

岩手県内の二級水系における流域治水プロジェクト策定について

岩手県では、県内の二級水系においても流域治水を推進することとしており、「流域治水プロジェクト」を今年3月に小本川水系で、9月までに久慈川、閉伊川、甲子川及び気仙川の4水系で策定したので情報提供します。

1 二級水系の取組状況について

(1) 二級水系における流域治水プロジェクトの策定状況

- ・ 本県では、北上川水系（北上川上流）流域治水プロジェクトのほか、県が管理する二級水系においても、「流域治水プロジェクト」の策定に取り組んできました。
- ・ 二級水系では、今年3月に小本川水系で、9月までには久慈川、閉伊川、甲子川及び気仙川の4水系で「流域治水プロジェクト」を策定しました。

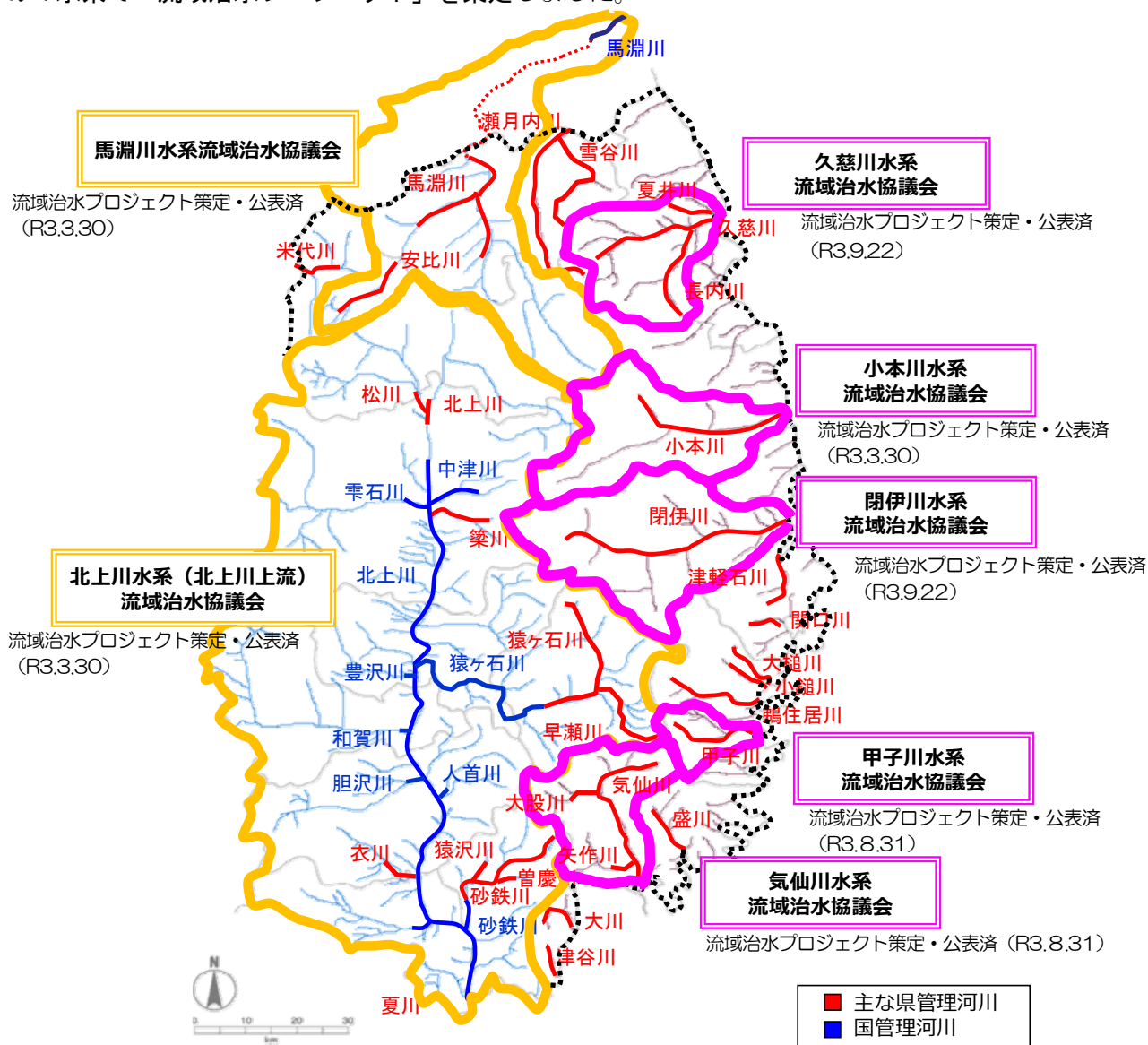


図. 流域治水協議会の区分図

※ 各水系のプロジェクトは、岩手県ホームページで公開しています。

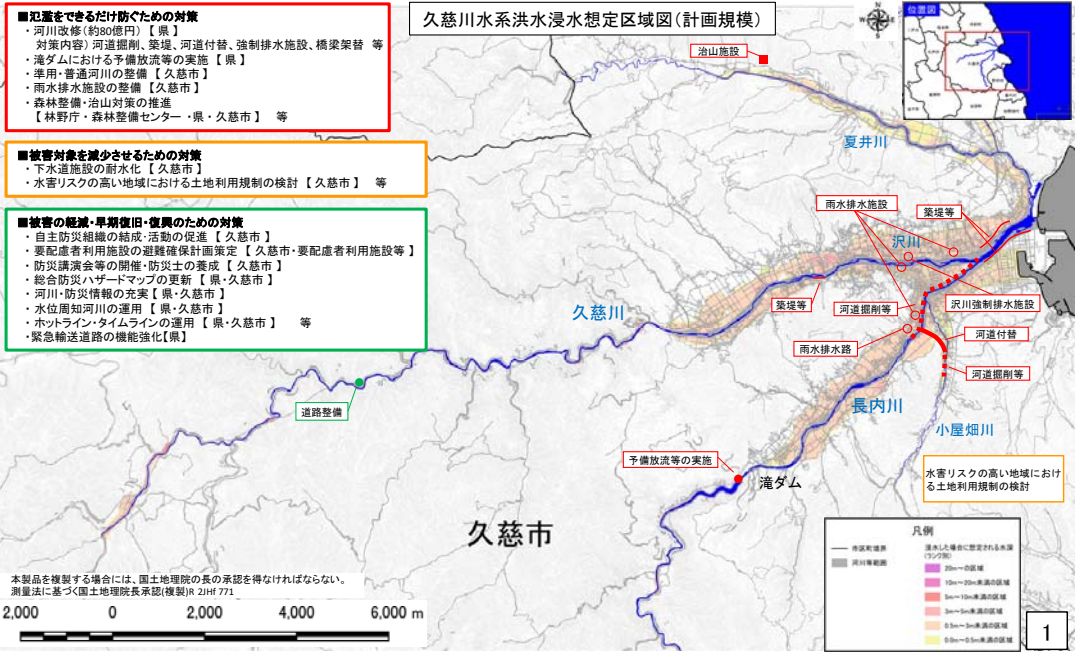
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/1036867.html>

～流域治水プロジェクト策定例(久慈川水系)～

二級水系 久慈川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

流域治水プロジェクト ～ 子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈市を浸水被害から守る流域治水を実践 ～

○平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈川水系においては、河道掘削や築堤、河道付替等の河川改修等を集中的に実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制等の流域対策や避難のためのソフト対策に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



二級水系 久慈川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

流域治水プロジェクト ～ 子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈市を浸水被害から守る流域治水を実践 ～

○久慈川水系では、流域全体を俯瞰し、国、県、久慈市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期】近年甚大な浸水被害を受けた箇所等について、河道掘削や築堤、河道付替等の河川改修を集中的に実施。また、災害危険区域指定・地区計画・条例などによる土地利用規制、家屋等の立地規制を検討。ソフト対策では、要配慮者利用施設の避難確保計画策定及び避難訓練の実施、自主防災組織の結成・活動促進、防災士の養成を行うほか、防災講演会や研修会の実施により、地域防災力及び防災意識の向上を図る。また、久慈市総合ハザードマップの更新や水位周知河川運用に加え、ホットライン・タイムラインの活用による防災体制の強化を図る。

【中長期】河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。ソフト対策では適宜フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

【凡例】
 破線 事業中、取り組み中
 実線 完了後の維持管理、フォローアップ等

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	河川改修、準用・普通河川の整備	岩手県・久慈市	破線	破線
	滝ダムにおける予備放流等の実施	岩手県	破線	破線
	雨水排水施設の整備	久慈市	破線	破線
	森林整備・治山対策の推進	林野庁・森林整備センター・岩手県・久慈市	破線	破線
被害対象を減少させるための対策	下水道施設の耐水化	久慈市	実線	実線
	水害リスクの高い地域における土地利用規制等	久慈市	実線	実線
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	自主防災組織の結成・活動促進 防災講演会や研修会の実施	久慈市	実線	実線
	要配慮者利用施設の避難確保計画策定と 避難訓練の実施	久慈市・要配慮者 利用施設等	実線	実線
	防災士の養成	久慈市	実線	実線
	多様な手段による防災情報の伝達	岩手県・久慈市	実線	実線
	久慈市総合防災ハザードマップの更新	岩手県・久慈市	実線	実線
	水位周知河川、ホットライン等	岩手県・久慈市	実線	実線

※ スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

(2) 今後の取組

- 「流域治水プロジェクト」を策定した水系では、プロジェクト内容を住民等へ周知するとともに、各流域の関係者と共にハード・ソフト一体となった事前防災対策を推進していきます。また、各地域で防災活動に取り組む団体等の協議会への参画促進等、協働体制の強化を図ります。